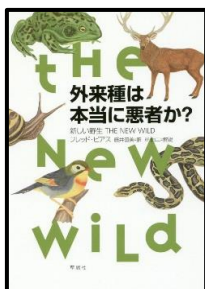




新着図書案内



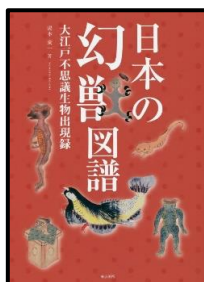
2016年8月発行



『外来種は本当に悪者か?』

想像の産物である「手つかずの自然」を守るより、外来種の活力と「侵略本能」を活かして自然の再生をめざすべき! 著名科学ジャーナリストによる、外来種のイメージを根底から覆す知的興奮にみちた科学ノンフィクション。

フレッド ピアス // 著 草思社



『日本の幻獣図譜 大江戸不思議生物出現録』

江戸時代には、河童や人魚といった“幻獣”が「いる」と信じられていた。絵や版本からミイラ、骨といった遺物まで、多彩な資料を駆使して、幻獣出現の諸相を明らかにし、この不可思議な存在を生み出した社会的背景にも迫る。

湯本 豪一 // 著 東京美術



『将棋・名勝負の裏側 棋士×棋士対談』

棋士には、相手が棋士でなければ語れない本音がある。郷田真隆×金井恒太、鈴木大介×永瀬拓矢など、『将棋世界』連載から15組の対談を抜粋し、5棋士による棋譜解説を追加して書籍化。

将棋世界 // 編 日本将棋連盟



『枕元の本棚』

幼少期の愛読書、創作の源となっている本…。芥川賞作家・津村記久子が古今東西の名著から58冊を精選。想像力のツボをじわりと刺激する、“目からウロコ”の読書エッセイ。『月刊ジェイ・ノベル』連載等に加筆修正。

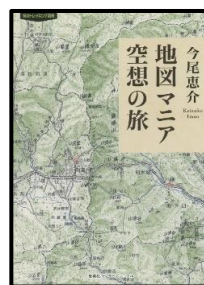
津村 記久子 // 著 実業之日本社



『化粧の日本史 美意識の移りかわり』

化粧には、おしゃれ、みだしなみのほか、身分や年齢、未既婚などを示す機能もあった。メイクアップの変遷をたどり、流行の背景を社会現象を交えて探るとともに、美意識の変化やメディア戦略にも触れつつ、化粧の歴史を描く。

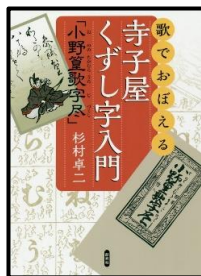
山村 博美 // 著 吉川弘文館



『地図マニア 空想の旅』

芥川「トロッコ」で描かれた大正の熱海、まっすぐ続くイギリスのローマ古道、廃線跡だったチューリヒのレントゲン通り…。「あたかも行ってきたかのように」綴る地図空想紀行。『ラパン:羅盤』他掲載を単行本化。

今尾 恵介 // 著 集英社インターナショナル



『歌でおぼえる 寺子屋くずし字入門』

江戸時代に手習い教科書として人気を博していた「小野篁歌字尽」に収録された、全131首の挿し絵入り影印を掲載。全てのくずし字に活字訳を付す。漢字や江戸風俗に関する雑学も満載。

杉村 卓二 // 著 創元社




『世界に一つだけの 深海水族館』

他に例がない“深海”がテーマの「沼津港深海水族館」の魅力がつまった一冊。深海生物109種を、生息水域などのデータとともに写真で紹介。シーラカンスの謎や飼育員の飼育日記、沼津港深海水族館クッキングなども収録する。

石垣 幸二 // 監修 成山堂書店

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『プロレス語辞典』

プロレスラー、技、団体…。プロレスにまつわる言葉を50音順に、イラストとともに解説する。プロレス・4コマ劇場、関係者インタビューなども掲載。とじ込み付録「マスクの作り方」つき。

榎本 タイキ // 著 誠文堂新光社

『癒やしの乗馬 ホースセラピー』

人を癒す不思議な馬の力とは? 馬との触れあいで癒される人、言葉を話せるようになった子ども…。全ては現実には起きている事実である。「乗馬療法」「治療的乗馬」等とも言われ、いま注目されるホースセラピーの全貌を紹介。

『財界』編集部 // 著 財界研究所

『東京レコード散歩 昭和歌謡の風景をたずねて』

銀座、渋谷、浅草…。昭和歌謡の風景を巡る散歩コラム。東京の地名や名所がタイトルや歌詞に登場する歌、ジャケットに街の風景が映っている東京のご当地レコード350枚以上をオールカラーで紹介。WEBサイト連載を書籍化。

鈴木 啓之 // 著 東京ニュース通信社

『花の品種改良の日本史』


日本における花の品種育成の歴史について、主に江戸時代から現代にいたる品種の変遷、育種技術の発展を詳述するとともに、育種家の奮闘や庶民の品評会の様子、美術品での描写を交え、豊富なカラービジュアルを通してひもとく。

柴田 道夫 // 編 悠書館

『ニッポン見便録』

アジア各地のトイレを検証してきたトイレ評論家・斉藤政喜が、妻を連れ、高速トイレをめぐる旅へ。高速道路のサービスエリア、パーキングエリアのトイレに寄り、独自の視点で視察する。「東京見便録」に続く突撃ルポ、第3弾。

斉藤 政喜 // 文 柘出版社



『アウシュヴィッツの図書係』

アウシュヴィッツ強制収容所に、囚人たちによってひっそりと作られた秘密の図書館。本の所持が禁じられているなか、図書係をつとめる14歳の少女ディタは、命がけで本を隠し持ち…。実話に基づく物語。

アントニオ G.イトゥルベ // 著 集英社

『絵本はパレット』

絵本の読み聞かせに関わって30年になる著者が、その中で印象に残った事、聞き手の子供や大人のエピソードを綴る。図書館識者たちの絵本にまつわるざっくばらんな座談会や、魅力ある活動をしている図書館も収録する。

大井 むつみ // 編著 郵研社

『浮世絵でみる!お化け図鑑』

東海道四谷怪談のお岩、皿屋敷のお菊、牡丹灯籠のお露、源平合戦の亡者、酒吞童子、九尾の狐、はたまた化け猫まで! 北斎・広重・国芳・芳年らが描く妖怪の浮世絵140点以上を掲載する。

中右 瑛 // 監修 パイインターナショナル

『ビール語辞典』

ビールの「スタイル」「ブルワリー」「材料」はもちろん、ビールにまつわる言葉を網羅した、イラスト満載のビール語辞典。店の情報や問い合わせ先も掲載する。

リース恵実 // 著 誠文堂新光社

『魔女っ子たちの図書館学校』

元東北福祉大学准教授(図書館学)の編著者の教え子である「魔女っ子」たちが、受け継いだ図書館DNAを公開! 「司書のつぶやき」「ゼミの思い出」「魔女っ子たちのブックレビュー」等を収録する。

大島 真理 // 編著 郵研社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

